

# 育成モノづくり人材

Vol. 16

## 愛知県立豊橋工業高校

愛知県立豊橋工業高校は1944年(昭和19)にできた愛知県東部の伝統校だ。卒業生は2万人以上で、地元産業界の信頼は厚い。近年は卒業生の8割が就職を希望し、求人倍率は6倍以上。内定率



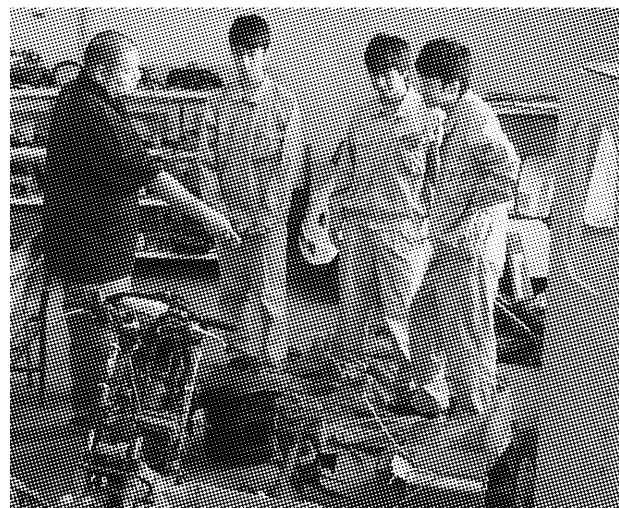
吉田校長

習や課題研究を重視する。資格取得も盛んで「資格ゼロで卒業する生徒はいない」(吉田)

### 課題研究で製品を発案

は毎年100%だ。豊校長という。課題研究には、生徒が製品を発案する授業系で計7クラス。モノづくりを担う人材を育成する観点から、いづれの学科も授業の半分は専門科目に充て、実業大学の「全国高等学

【DATA】▷校長=吉田豊氏▷所在地=愛知県豊橋市▷学科構成=(全日制)機械科、電子機械科、電気科、電子工学科、建築科、土木科、(定時制)機械科▷総定員=280人▷主要設備=工作機械、溶接機、測定機器、コンピューターなど▷主な進路=15年3月の全日制卒業生257人中、就職は209人(家業含む)で6割が豊橋市と県内周辺市の企業。進学は国公立大2人、私立大20人、短大高専4人、専門学校12人



校ビジネスアイデア甲子園」で13年のグランプリを受賞。印刷・フィルムメーカーの大三紙業(愛知県豊橋市)が14年に商品化した。また、エコカーやロボットを製作して競技(LED)を使った時

授業では実習や課題研究を重視する

機械メーカーの西島(愛知県豊橋市)で指導を受けて技能検定に合格した教員もいる。吉田校長は「社会で通用する人を育てる」を基本方針とし、マナー教育などにも気を配る。「地域から必要とされる学校」(吉田校長)も心がけ、運動部が中心となって自主的に毎朝学校周辺を清掃するのにも長年の伝統だ。(名古屋編集委員・村国哲也)

(金曜日に掲載)